

常任委員会レポート

◆区議会で取り扱う事項は件数が多く、内容も広い分野にわたることから、専門的・効率的に審査や調査を行うため、分野ごとに常任委員会を設けています。

◆第2回定例会で各委員会に付託された議案や陳情について、審査した内容などの一部を紹介します。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)などを審査 企画総務委員会(6月12日、14日)

◆**議案審査**
令和5年度一般会計補正予算(第3号)は、エネルギー・食料品価格などの物価高騰に伴う区民生活及び区内事業者の支援などを行うため、総額19億8千900万円を増額するものです。

◆**主な質疑**
問 プレミアム付商品券の発行は、抽選漏れが少なくなるよう配慮したのか。

◆**報告事項**
板橋区パートナースhip宣誓制度(仮称)の素案については、区としての独自制度の導入に決まりました。

◆**報告事項**
板橋区パートナースhip宣誓制度(仮称)の素案については、区としての独自制度の導入に決まりました。

補正予算概要についてなどを質疑

区環境委員会(6月12日)

◆**報告事項**
補正予算概要については、いたばしPayの利用者に対するポイント還元事業のパートナーを増やし、地域経済活性化及びキャッシュレス決済のさらなる推進を図るための経費などを計上した第3号補正予算の概要を報告するものです。

◆**主な質疑**
問 いたばしPayは、一時的に実施する事業ではなく、

◆**報告事項**
プラスチックの資源化については、6年度開始予定のプラスチックの資源化の概要や今後のスケジュールなどを報告するものです。

◆**主な質疑**
問 プラスチックの分別について、小中学校と連携して児童・生徒にも周知すべき。

「板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2026」の基本方針についてなどを質疑 健康福祉委員会(6月12日、14日)

◆**報告事項**
「板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2026」の基本方針については、長期的な視点に立ち、持続可能な介護保険制度の構築と、地域包括システムを具現化する「板橋区版AIP」のさらなる推進を図るための計画策定の基本方針を報告するものです。

◆**主な質疑**
問 宣誓する際に、2人が来庁しなければならぬ理由は、答 本人確認と本人の意思確認を行うため必須としている。

◆**報告事項**
「板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2026」の基本方針については、長期的な視点に立ち、持続可能な介護保険制度の構築と、地域包括システムを具現化する「板橋区版AIP」のさらなる推進を図るための計画策定の基本方針を報告するものです。

◆**主な質疑**
問 現時点での板橋区における地域包括ケアシステムの構築に向けた評価は、答 18の圏域を設け、それぞれで生活支援体制整備事業を開始した。概ね順調に進んでいると考えている。

補正予算概要についてなどを質疑

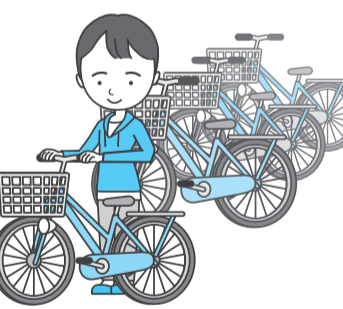
都市建設委員会(6月13日)

◆**報告事項**
補正予算概要については、5年度から6月までの間、高齢者施設及び障がい者施設の利用者などに対し、PCR検査の費用を支援するための経費などを計上した第3号補正予算の概要を報告するものです。

◆**主な質疑**
問 PCR検査のほかに、抗原検査キットが配られているため、制度の利用件数が減少している。5類移行後も感染予防が行えるよう、事業者への周知を図るなど、検討していく。

◆**報告事項**
補正予算概要については、5年度から努力義務化された自転車利用者のヘルメット着用について、区民の着用率を向上させるため、ヘルメット購入費を助成する経費を計上した第3号補正予算の概要を報告するものです。

◆**主な質疑**
問 現時点で想定している、助成金の支給方法は、答 指定した販売店で購入する際に、販売価格から値引きする方法を考えている。



保育所等の保育費用に関する条例の一部を改正する条例などを審査 文教児童委員会(6月13日、14日、21日)

◆**議案審査**
保育所等の保育費用に関する条例の一部を改正する条例については、5年10月から都が0歳から2歳児クラスの第2子以降の保育料を無料とすることとしたため、条例を改正するものです。

◆**主な質疑**
問 条例改正により、対象者はどのくらいになるのか。

◆**報告事項**
定期料金の日割計算が可能になることは利用者にとって有益であるため賛成。当日利用の回数券をなくさないでほしいとの区民の声があるため反対などの意見がありました。表決の結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決定しました。

◆**報告事項**
補正予算概要については、物価高騰の影響により負担が増している子育て世帯の負担軽減を図るため、天津わかしお学校を含む区立小中学校の児童・生徒の給食費を無償化するために要する経費などを計上した第3号補正予算の概要を報告するものです。

◆**主な質疑**
問 学校給食費無償化について、どのような支給方法となるのか。

補正予算概要についてなどを質疑

保健委員会(6月13日)

◆**報告事項**
補正予算概要については、5年9月以降、各月の1日時点で在籍している児童・生徒数に月額給食費を乗じ、保護者への補助金として各学校に対し支給する。

◆**報告事項**
補正予算概要については、5年9月以降、各月の1日時点で在籍している児童・生徒数に月額給食費を乗じ、保護者への補助金として各学校に対し支給する。

